

1. 只見川電源流域振興協議会（会長：目黒 吉久・福島県只見町長）

①プロジェクト名：「日本ミツバチが繋ぐ奥会津元気プロジェクト」

②目的：

奥会津地域振興のため、「日本ミツバチ」と「春よこい」を基軸とし、奥会津地域への集客と6次化商品の販路拡大を目指す。パンフレット作成、イベント開催、宣伝広告等を行なう。

③概要：

奥会津地域における生活を主題としたマタギドドキュメンタリー映画「春よこい」の上映会を昨年10月ホテルハマツ（郡山市）、12月熱塩温泉山形屋（喜多方市）で実施。ホテルハマツでは、「日本ミツバチ」の百花蜜を使ったスイーツが提供された。今年1月には福島県内の宿泊施設、飲食店関係者を招聘した視察会を実施した。

試写会イベント参加者からは、好意的な意見が多く寄せられ、映画をきっかけに奥会津への理解を深めてもらう良い機会となった。



（山形屋「春よこい」試写会の様子）

2. 日本葡萄酒革進協会（代表理事 三澤 茂計）

①プロジェクト名：

「福島県浜通りにおける醸造用葡萄栽培とワイン醸造に関する人材育成の仕組みの検討」

②目的：

福島県浜通りにおける醸造用葡萄栽培とワイナリー事業を開始するにあたり、先進的な仏、米のワイン関連教育制度の現地調査を実施する。福島の復興のみならず、日本全体のワイン産業の発展にも貢献し得るものと期待される。

③概要：

昨年11月山梨大学ワイン科学研究センター等の有識者を交えたアドバイザリー会議を開催。海外の人材育成システム、ぶどう栽培・ワイン醸造制度等を視察するために今年1月フランス、2月末から3月初めにかけてアメリカを訪問した。

フランスは、ボルドー、ブルゴーニュに赴き、農業促進職業教育センター、高校、ワイナリーを訪問し、ワインに関する実践的な知識と技術の教育方式についてヒアリング。アメリカは、カリフォルニア州に次ぐワイン事業規模を有するワシントン州に赴き、ワシントン州立大学、ワイナリーを訪問、フランス同様、ワインに関する実践的な知識と技術の教育方式を学んだ。



（視察先 ワシントン州立大学）

3. 裏磐梯観光協会（会長 森井 宣行・裏磐梯ロイヤルホテル支配人）

①プロジェクト名：「高校生の高校生による移動マルシェ」

②目的：

教育旅行の拡大、学生同士の交流と受入施設の充実、地場産品の消費拡大、六次化推進を図る。福島県内実業高校生が生産・加工した産品を、マルシェで販売し、相互交流のきっかけづくりを行なう。

③概要：

昨年12月、鹿児島県立曾於（そお）高校2年生約170名を、修学旅行生として裏磐梯ロイヤルホテルにて受け入れ、福島県立磐城農業高校生徒が福島県産品を活用した創作メニューを提供するなど、移動マルシェという形で高校生同士の交流を深めた。

創作メニューとして福島県産の米・エゴマ豚・梨を使用した「ふくしまテンコ盛り焼肉丼」を披露したほか、福島県立いわき海星高校「さば水煮」を販売するなど、福島の魅力をPRした。



（高校生同士の意見交換会の様子）

4. えこえね南相馬研究機構（代表理事 高橋 荘平）

①プロジェクト名：「再エネの里観光事業」立案事業

②目的：

エネルギーと食の地産地消をテーマに開設された「再エネの里」に、持続可能な新しい観光事業となりうるプラン立案を目指す。南相馬復興モデルとなることが期待される。

③概要：

昨年11月観光事業プランづくりのためのワークショップ、今年1月には南相馬体験ツアー、市民を交えたワークショップを開催。農業と共存した再生エネルギーへの取組を、いかに観光資源として活用できるか議論した。

南相馬体験ツアーは、再エネの里でのソーラーシェアリング施設見学・乗馬体験、南相馬市博物館を見学するとともに、ゼロ村牧場パカラッチョ平井牧場長、南相馬市立総合病院金澤院長等と意見交換を行なう形で行なわれた。



（乗馬体験の様子）